

2024 年度技術士受験説明会実施報告2024 年 4 月 10 日
作成 橋本 香奈

日時	2024 年（令和 6 年）3 月 24 日（日）14:00～17:00
開催方法	機械振興会館 B3-1 号室及び Zoom によるリモート方式
参加者	受講者 10 名、パネリスト 4 名、理事 11 名

1. 開会挨拶

坂巻副会長よりご挨拶をいただいた。

- ・技術士包装物流会の本部と関西支部で交互に開催していたが、東京の会場で行う共同開催は初めてである。
- ・技術士は取得して終わりではなく、継続的に専門技術を研鑽し、三義務二責務や技術士倫理綱領等のコンプライアンス順守を徹底しなければならない。

2. 基調講演

青木会長に講演いただいた。自己紹介、ご自身の技術士受験にまつわる話、合格し独立してからの歩み、試験制度概要や令和 5 年度の技術士合格の統計情報などお話をいただいた。

3. 新試験制度合格者による受験生へのアドバイス

本橋様（経営工学部門 生産・物流マネジメント科目）：技術士資格取得≠勉強と考えた。モノを設計し開発、量産を進めていくイメージで試験を捉えた。論文作成時の骨子の組立て方など例を挙げ説明。

川崎様（経営工学部門 生産・物流マネジメント科目）：筆記論文は、ご自身に合う指導者に適切に指導いただくことの重要性を強調。合格した年には論文を 40 問解くまでに成長。

河野様（経営工学部門 生産・物流マネジメント科目）：受験部門の選び方、試験の出題内容が業務とかけ離れた設定、知らない設定であったときの考え方、大事なポイントなど説明。

清水様（化学部門 高分子化学科目）：包装業界の者が化学部門で受験するうえで最重要課題として考えるべき内容を整理。独学で気づきにくい点を指導いただけるのが論文添削の一つの利点と説明。

4. グループ別ディスカッション

Zoom のブレイクアウト機能を使い、第一次試験受験者（受験検討中の方を含む）と第二次試験受験者に分け、グループディスカッションを行った。

【第一次試験グループ】司会 平田技術士 / 記録 北技術士

質問 1：企業での経歴と大学での指導内容、学生時代の専門、近年の取り組みを考慮すると、専門科目の受験科目として何が適切であるか決めにくい（過去問未確認。出題傾向を把握できていない）。

回答：専門領域に近い科目を受験することが望ましい。口頭試験にて「受験科目が専門外」との指摘を受けないように、受験科目は十分に検討する必要がある。

質問2：大学院卒業後機械メーカー勤務、マテハンを担当。営業部門での業務であり、技術士の資格との関連性が見えてこない。現場で技術士としての知識をどのように活用できるのか。

回答①：物流業界にて勤務。営業提案にて QCDSE の利点の売り込みを行う機会はある。これらの業務経験が技術士としての考え方が役立つのではないかと。第二次試験の論文作成にも相通ずるものがある（説得力・論理性）。自身も経営工学的な知識を考えながら業務を進めている。

回答②：自身も入社後に営業部門を経験。提案型の営業を担当。部門間の利害関係調整を行う業務があり、4M（経営資源の有効利用・リソース配分）やリーダーシップ（部門間の利害関係調整）の考え方は第二次試験の論文作成に有効。現在は購買部門を担当。出願書類の業務経歴には「営業経験」、「購買部門経験」ともに記載。経営工学的な視点での関連性がある。第一次試験の受験科目は何を選択しても問題ないので、関連しそうな専門科目の過去問を確認した上で、自身の適性にあった科目を認識するところから始めるのが良い。第一次試験に合格すれば（修習技術士）、第二次試験はどの科目でも受験資格がある。是非、第一次試験の過去問題の確認を行うところから始めてみてほしい。

質問3：技術士試験受験にあたり、取り組んだ参考書等を教えてほしい。

回答①：基礎・適性科目の教材として右記書籍を紹介。最近の出題傾向より情報系の出題には「IT パスポート」、環境領域は「エコ検定」の教材が参考になる。

その他挙げると「大学生のための例題で学ぶ化学入門」（大野公一・村田滋・錦織紳一 著 共立出版）、「図解でやさしい 入門材料力学」（有光隆 著 技術評論社）、「大学講義 技術者の倫理 入門」（杉本泰治・高城重厚 著 丸善出版）。

もっと要領よく勉強する方法はあるかもしれない。自身は文系出身であり、化学などは得意ではなかったもので、コツコツ地道に勉強した。



質問4：「技術士試験アプリ」の詳細を知りたい。

回答：「資格試験対策学習アプリ」の下記リンクを参加者に共有。

<https://apps.apple.com/se/app/技術士-資格試験対策学習アプリ/id1616449432>

質問5：技術士のメリットを教えてほしい。

回答①：5年前に技術士事務所を設立し独立。「名称独占」のメリットはある。技術士を取得することによる「信頼度」に違いがある。文書作成能力にも違いがでる（ストーリー、講演の手法）。コンプライアンスが重視される中、国家資格である技術士保有者とそうでない方では意識が異なる。

回答②（補足）：名誉棄損行為は技術士資格をはく奪されるリスクがある。一例として特許取得などの際、法規制上で適合不適合の論議がされる。技術士として論文作成を進める際の信頼度も異なってくる。

回答③（補足）：「名称独占」に関連し、技術士同士は「業務独占」との違いを良く認識している。その分、技術士同士の一体感があり、困っているときなど相互協力を得られやすい一面もある。業務経歴が長い場合や多い場合は最近の5件にするか、代表的な経歴をピックアップするとよい。

質問6：技術士は20分野+1分野あるが、技術部門として不足している分野等はあるのか。

回答：技術士の約半数は建設部門にて占めている。これは建設部門の中に「業務独占」の仕事があり、ニーズがある。その他の分野には差異は感じられない。

情報提供：技術士より、自身のキーワード学習データが共有された。一例)「工場技術」、「数理計画」、「生産管理」、「統計的手法」、「物流管理」、「製品開発」の大分類の中に、個々の領域ごとに細分化されたキーワードをまとめた勉強法を紹介した。

【第二次試験グループ】司会 橋本 / 記録 久保田技術士

自己紹介：参加者全員の簡単な自己紹介を実施。

質問1：受験申込書の記載方法を知りたい。

回答①：大筋はパネリストの4名の説明の通りである。技術士法総則の第二条に技術士の定義があり、計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務（他の法律においてその業務を行うことが制限されている業務を除く。）を行う者を技術士と定めている。それに沿った内容を選び、体言止めにするとよい。5点の業務経歴の記載について、記載しない期間が途中にあっても良いが、できれば開けない方がよいと考える。

回答②：Excelファイルに入力し、PDFファイルで発行する形式になっており、フォントを変更しても良い。ただし、PDFファイルで編集する必要がある。

回答③：令和6年度の受験申込書は明日（3/25）から配布される。昨年度以前の様式は使わず、最新版で作成することが必要である。経歴、業務詳細が重要で、コンピテンシーを鑑み、先輩技術士の添削を受けてほしい。

回答④：提出後、申込書にミスを見つけた場合、非常に気になるかもしれないが、口頭試験の試験官には気づかれない種類のミスもある。（致命的なミスは別として）試験官から指摘されることがなければ、試験官からの質問に答えることを優先させ、質問に確実に回答し、合格に近づける。口頭試験前日に、「受験申込書」に記載した内容の復習をしたほうが良い。

質問2：仕事が忙しく、平日に2時間まとまった時間がとれない。

回答①：平日は細切れの時間を有効活用すればよい。論文を1つ仕上げるなどは、週末にまとまった時間を使って行えばよいと考える。

回答②：技術士の問題はパターン化されているので、細切れでつくっておいて、アウトプットに2時間とるのがよいと考える。

回答③：勉強時間は昼休み、通勤時間も使い、有効活用するのがよい。自身の場合は酔って帰っても、試験前には少なくとも30分間は勉強した。時間は作り出すものである。

回答④：（試験では1日中）手書きすることになるので大変である。手書きの練習は必要である。

情報提供：論文中に図表を使うことについて

回答①：技術士試験受験時、原稿用紙何枚で書けと文字通り受け取り、表を書いてはいけないと思っていたが、実際には（図も）表も利用して解答してよい。

回答②：以前になかったルールが明文化され、現在は図表中に記載する文字は1マス1文字である。

※「令和6年度技術士第二次試験受験申込み案内」23頁「5.採点に際しての取り扱い」(3)参照

回答③：自分の受験時は、図を多用して、多くの情報を盛り込み重宝した。しかし、図表の例のように従来とルールが変わる場合があるため、各自今年の受験案内を必ず確認のこと。

回答④：過去問では図を入れたほうがよいものがあったが、近年の出題の傾向は変わってきているので、添削指導を仰いだほうがよいと考える。

質問3：口頭試験前、模擬の口頭試験を受ける際に、対面とwebがある。webのメリットは何か。

回答①：コロナ禍のさなかだったので、webで3回実施していただいた。時間の有効活用で非常に良い。緊張するので、webで慣れて緩和できることもよい。練習初期はカンニングもできるし、レコーディングもできるので、ふり返って確認もできる。

回答②：対面で受けたとき、手の置き方等を指摘いただいた。面接時のよろしくない動作などは、対面でご指摘いただけるので、webと対面を使い分けるとよい。

回答③：webでの模擬面接は何回もやってよい。対面でも良心的な価格のところがある。よろしくない口癖などもすべて指摘する指導がある。3回ぐらいは受けて、修正して本番に臨むとよいと考える。

質問4：口頭試験で不合格とならないように気を付けることは何か。

回答：筆記論文内容を試験前に見返してから当日に臨んだ方がいい。試験官と議論になってはいけない。口頭試験で不合格になったことが2回あり、その要因はそれぞれ次の理由であったと考えている。

- ・筆記論文の記載内容に関して、試験前に見返すことを忘れて、内容についての記憶が一部不確かなまま試験に臨んだ。試験官から論文に書いた内容について問いかけがあったが、その受け答えがあいまいとなってしまった。
- ・試験官と議論をしてしまった。

質問5：口頭試験の時期はいつ頃になるか。

回答：早ければ試験期間の最初（合格通知が届いて約1か月後）。その他、12月半ばからクリスマス頃と技術士によってまちまち。試験官の都合によって決まる側面もあると推測される。

質問6：業務上関係ないと自身では思っているのだが、大学院過程を終えている（理系）。受験申込書の「大学院における研究経歴」に、記載した方がよいか。

回答①：記載したほうがよい。

回答②：専門以外での受験した技術士がいる。その方の事例を見ても、記載したほうがよい。

回答③：「文系学部」で大学院過程を終えた者が技術士を受験するときに、技術士会に大学院の経歴を記載したほうがいいのかどうか問い合わせたところ、書かなくてよいという回答があった。

5. 全体での質疑応答

情報提供：第二次試験グループでの主要な話題の共有化→受験申込書の記載方法／学習時間の確保の仕方（細切れ時間の有効活用）／口頭試験に関するもの（時期・内容）／口頭試験における失敗事例（課題論文の内容把握の必要性、前日に論文の復習は必須、試験官との議論になることはNGなど）

質問1：独立して最初の仕事をどのようにして獲得したのか。

回答①（青木会長）：以前働いていた部門の部下が、子会社の社長であった。その会社と契約をし、改善の指導を実施した。他、協会等のネットワークで仕事を広げた。

回答②（真野副会長）：食品メーカーでの勤務期間が長く、生産マネジメントが業務の主軸なので、食品関係、食品安全の指導を手がけ、その後もその関連が多い。

質問2：第二次試験の申し込みの記載について、秘密情報の取り扱いをどのようにすればよいのか。

回答①：勤務先の先輩に相談し、指導を受けること。コンピテンシーを良く理解すべきである。技術士試験は特許、秘密情報を取り扱う試験ではない。その点を理解してほしい。

回答②：記載する内容は成果が大きいほうがよい。実施した・取り組んだ内容に焦点を当てて記述するとよい。

質問3：勉強の優先順位を教えてください。

回答：Ⅱ－1の内容は基礎。ここから手がけるべき。基礎的事柄・語句を説明する問題が出題される。

質問4：第二次試験の筆記論文は、「自分にあった先生に教えてもらうことが大切」との話であるが、どのようにして見つけたらいいのか。

回答①：4年（4回）挑戦。1年目は独学、2、3、4年目に別々の通信教育講座を受講。4年目は題意の把握の仕方や細かな記述方法を学んで、40題の答案を作成した。自信をもって受験できたし、本番も手ごたえがあった。

回答②：添削指導を十分に受けるのが良い。

↳ 回答①②から、ご自身にあう論文の添削指導者と出会うまでの情報収集は必要。よき指導者と出会っても、1回や2回添削を受けた程度で論文の題意の把握まで理解するのは難しいかもしれない。

6. 閉会の挨拶

青木会長より、下記の内容でご挨拶いただいた。

本日参加いただいた方には、是非、技術士試験にチャレンジいただきたい。第一次試験に合格できれば技術士会に入会でき、技術士包装物流会に準会員として入会もできる。当会は仲間を増やすために受験生を支援しているので、上手に利用しながら効率よく準備を進めていただきたい。

7. アンケート結果（別紙）

別紙に、受講者アンケート結果を示す。7名（70%）より回答を得た。

以上

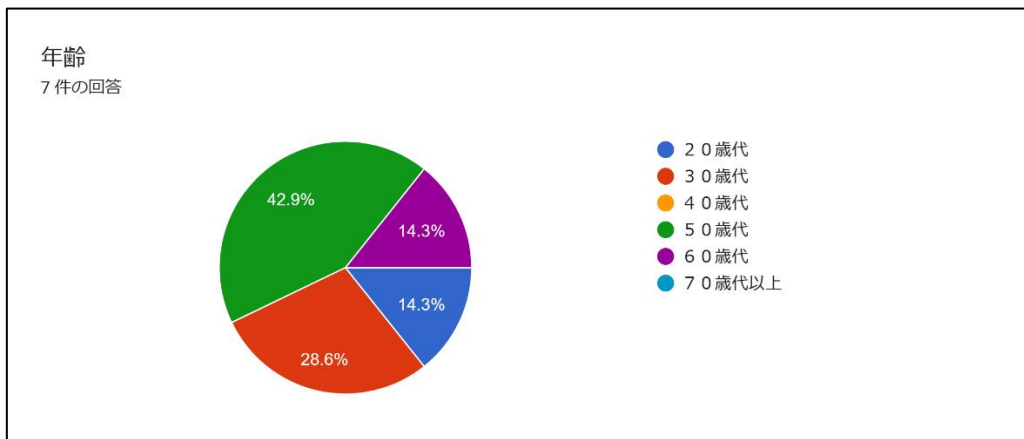
2024年4月8日

技術士包装物流会 受験対策委員会

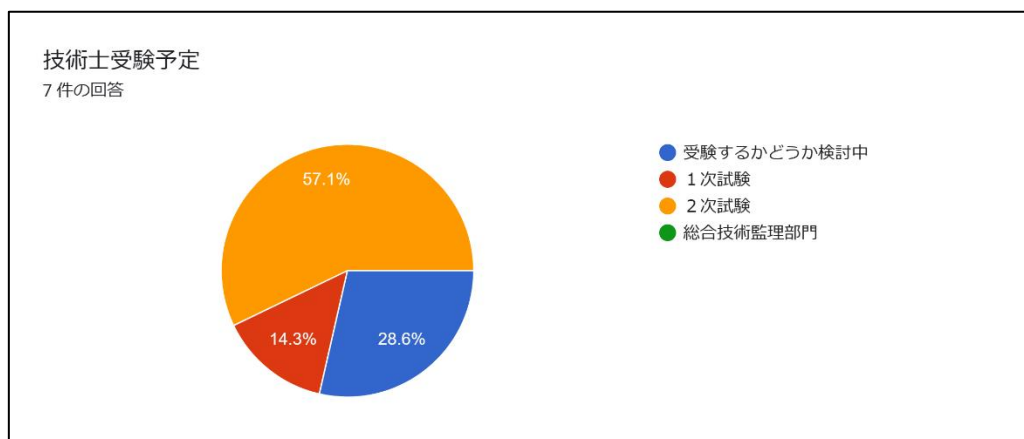
2024年度技術士受験説明会アンケート結果

- 1. 開催日時 2024年3月24日(日)14:00~17:00
- 2. 場所 機械振興会館 地下3階 B3-1会議室 及びオンライン
- 3. 出席者 (受講者)会場参加 5名 オンライン参加者 5名
(技術士包装物流会) 会場参加 12名 オンライン参加 3名
- 4. アンケート回答者 7名(回答率 70%)
- 5. アンケート結果

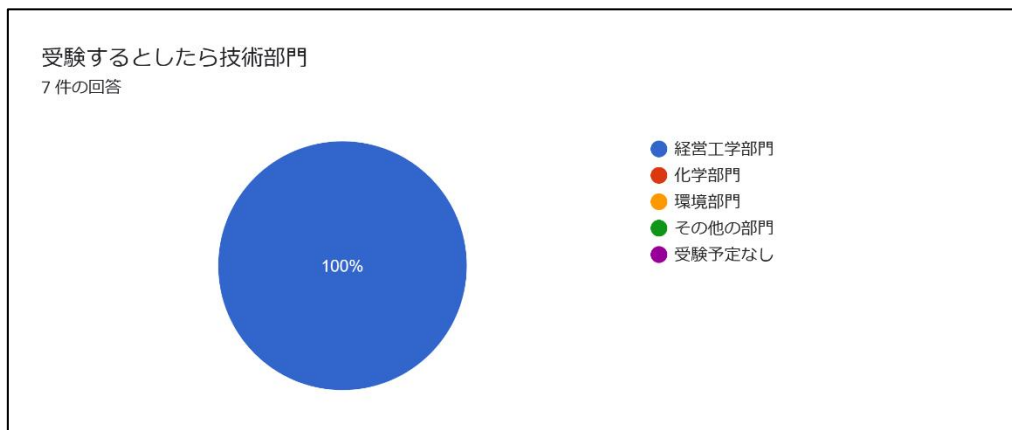
(1)参加者年齢



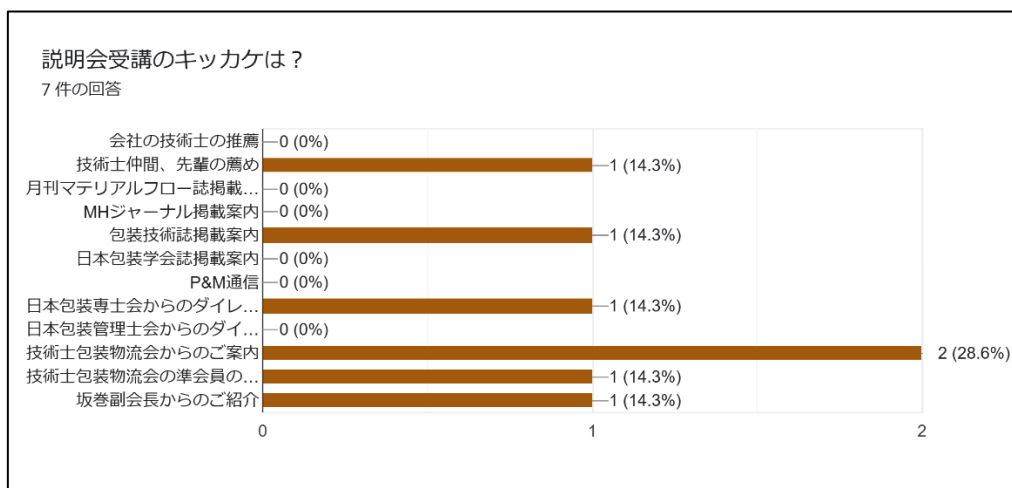
(2)受験予定



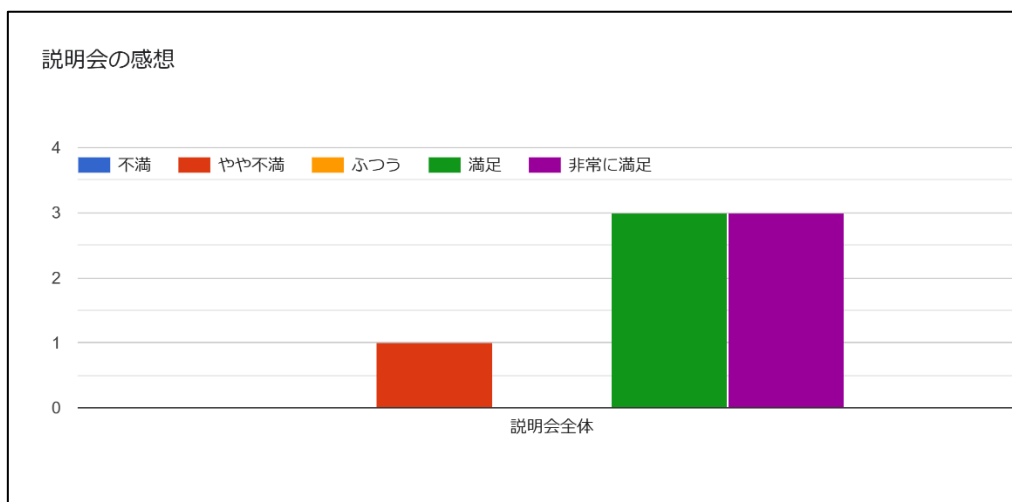
(3) 受験予定部門



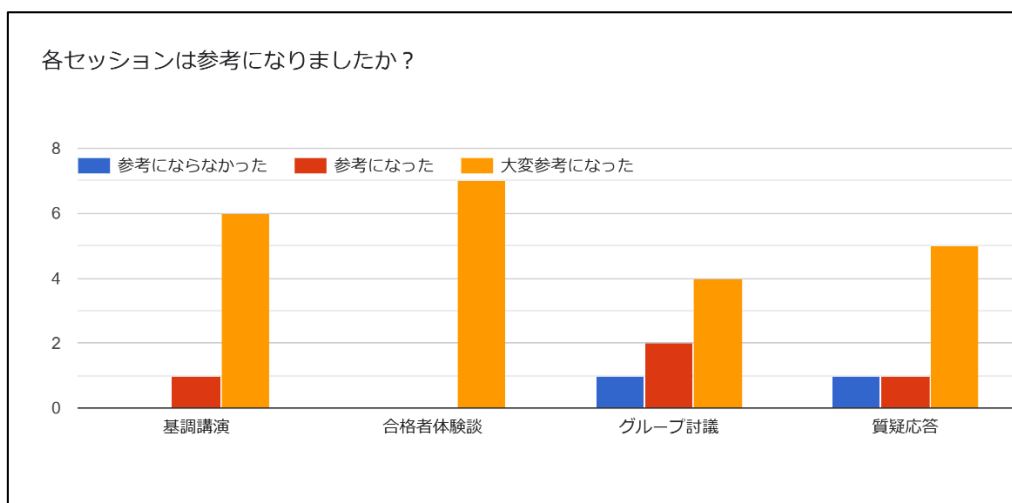
(4) 説明会受講のキッカケ



(5) 説明会の感想



(6) セッションごとの参考度



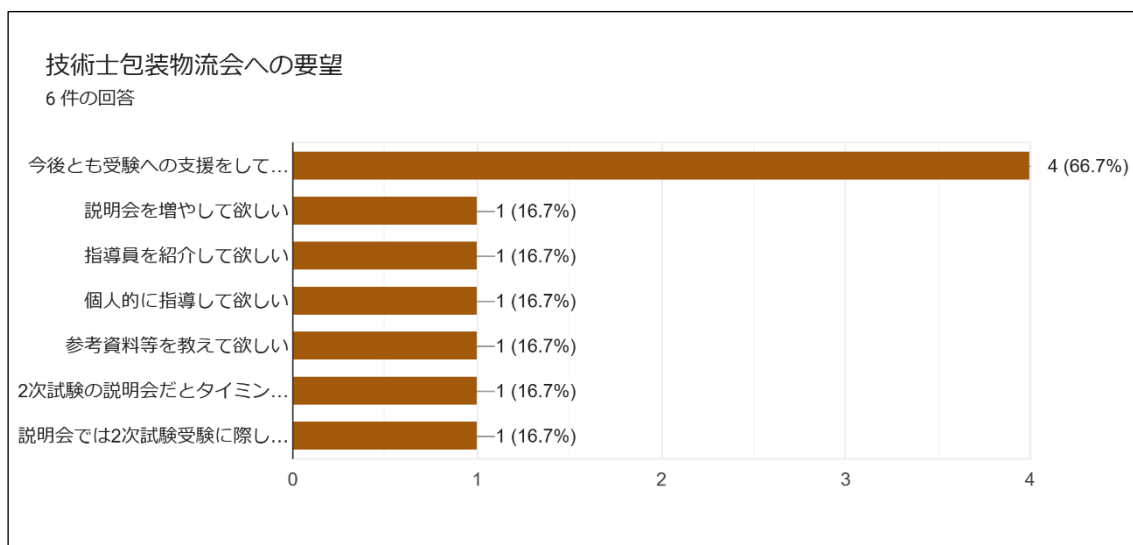
(7) 各セッションに対する意見、要望

- ・グループディスカッションと全体質疑の内容が濃く、もう少し時間があっても良かったかもしれない。
- ・非常に参考になりました。
- ・今回リモートで参加させて頂いたのですが、グループ討議の際、パネリストの声が遠く、せっかくお話し頂いた内容が良く聞き取れませんでした。
- ・グループ討議についてですが、グループAではスタート時、誰が受講者なのか、セミナー側の方なのか分からない方もおり、名札の紙の色を変えるなど見た目で見分けるようにされたら良いと感じました。・またWEB参加での受講者からの質問が無かったので、おそらく今回はいなかったと理解しましたが、受講者がだれか、討議開始時に紹介があったほうが良かった。
- ・親身になって、質問に答えてくださった。

(8) 説明会全体を通しての感想、ご意見等

- ・受験や学習方法の参考、イメージがついて勉強になった。
- ・メイン画面の切り替えがうまくいっていませんでした。G 討議は会場の人々の音が一部聞こえていませんでした。
- ・2次試験に対しては3月末からスタートだと手遅れ感があるので、もう少し早い時期(12月、1月ごろ)に実施して頂けると良いかと思いました。また先輩技術士に相談・添削してもらおうというのが、最も効率的というは分かりました。一方で身近に技術士がいないため、このような説明会に参加させて頂いているので、質問に対して「とにかく先輩技術士に相談・添削してもらえ」という回答は、いささか乱暴ではないかと感じました。せっかく合格者の方がいらっしゃったのに、添削して頂く前に気を付けたポイントなどが聞けず、現地参加できなかったことが悔やまれました。
- ・技術士とは何か、何を学習すればよいのか等、説明会前は漠然としていたものが、具体的な体験談や学習方法をお聞きすることが出来、理解が進みました。
- ・他の資格でもそうであったが、独学で努力しても資格取得はあらためて難しい(不可能)と感じたので、当説明会の企画に感謝しております。前向きに1次試験の受験は検討しています。
- ・技術士物流会の講師が大勢お集まりいただき、申し訳なくありがたく思いました。

(9)要望事項



(10)ご要望事項がありましたらご記入ください

- ・ありがとうございました。
- ・特になし。
- ・まずは一次試験受験準備に向け今後とも色々ご相談したく、宜しくお願いいたします。
- ・一定期間で結構なので、ストリーミング(ビデオ)で聴講でき復習できるようになるとありがたいです。
- ・とにかく頑張る気持ちが強くなりました。息切れすることなく、あと3ヶ月頑張ります！

受講者の皆さま、アンケートへのご協力、ありがとうございました

以上